

## 施財せざいの偈げ

さいほうにせ　くどくむりよう　だんばらみつ　ぐそくえんまん　ないしほっかい　びようどうりやく  
財法さいほう二施にせ　功德無量くどくむりよう　檀波羅蜜だんばらみつ　具足円満ぐそくえんまん　乃至法界ないしほっかい　平等利益びようどうりやく

〔大意〕

物でも心でも、財物と教法の二つの施しものは、体に栄養を得、心に安らぎをえるもの。その功德は量りしれないものであります。貪りの念なく、ただ慈しみの故に、施し・施され、施す物にも、とらわれなく、その本当の意義を、互いに体得し、欠けることなく、円にそなえ、その施しあいが二人の間にとどまることなく、全世界に広がるように。